

戦争にチャンスを与えよ (文春新書)

文春新書

1120

戦争に チャンスを与えよ

エドワード・ルトワック

奥山真司 [訳]



文藝春秋

発売日: 2017年4月21日

出版: 文藝春秋

著者: エドワード・ルトワック

PDF

国連・NGO・他国の介入が戦争を長引かせるのだ！
ベストセラー『中国4.0』の著者、待望の最新作！

著者は古今東西の歴史に通じる一方で、実際の戦場も経験しており、各国の安全保障アドバイザーとして活躍しています。

そのルトワック氏はこう断言しています。良心や正義感、人道的配慮にもとづく国連、NGO、他国による中途半端な介入が、「戦争」を終わらせるのではなく、「戦争」を長引かせている、と。なにも戦争を奨励しているわけではありません。「本当の平和は、戦争の当事者自身が戦争を倦むほど、徹底的に戦った後でなければ訪れない」のです。

「難民支援が難民を永続化させる」「軍事力ではなく同盟関係がすべてを制す」など、見誤りがちな「戦争」と「平和」の見方を正してくれます。

また、「平和のためにこそ尖閣に武装人員を常駐させる」「日本の「あいまいさ」が中国の誤解を生む」「北朝鮮の核・ミサイル能力を侮るな」「日本が国連常任理事国になる秘策」といった日本への具体的な提言も満載。

【目次】

- 日本の読者へ 日本の新たな独立状態と平和
 - 1 自己解題「戦争にチャンスを与えよ」
 - 2 論文「戦争にチャンスを与えよ」
 - 3 尖閣に武装人員を常駐させる 中国論
 - 4 対中包囲網のつくり方 東アジア論
 - 5 平和が戦争につながる 北朝鮮論
 - 6 パラドキシカル・ロジックとは何か 戦略論
 - 7 「同盟」がすべてを制す 戦国武将論
 - 8 戦争から見たヨーロッパ 「戦士の文化」の喪失と人口減少
 - 9 もしも私が米国大統領顧問だったら ビザンティン帝国の戦略論
 - 10 日本が国連常任理事国になる方法
- < 訳者解説 >

<https://k2s.cc/file/be15ad1cd1fe5/3ivfHyrnj.pdf.rar>